

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（ 積志小 ）学校運営協議会長

<本年度の目標>

- ・学校のニーズに合った学校支援ボランティアの充実
- ・地域への周知と協力体制の確立
- ・ボランティアとの連絡ツールの確立
- ・ボランティア名の決定（マスコットキャラクター、ワッペンなどの作成）

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・学校教育目標や学校運営の基本方針についての内容を理解し、熟議することができた。昨年より理解が深まったことで、より具体的に熟議できた。
- ・校長先生より「学校経営書」をもとに、学校経営の基本理念と学校教育目標についての説明を受け、目指す学校の姿を理解することができた。教育課程前期の振り返りにて、教職員との意見交換を活発に行えたことで学校の取り組みを具体的に理解することができ、内容を委員間で情報共有できたことで地域及び保護者としてできることについて熟議することができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・学校支援活動について、実行すべき役割分担や見直しなど具体的な熟議を進めることはできていなかった。外部に支援活動をもっと積極的にPRしても良いと思う。
- ・教職員の教育課程会議や5年2組の子供たちとの意見交換や交流の場があり、学校生活における悩み事や困り事を直接聞くことができ、その後の熟議において委員間で意見を出し合うことができたため、教育活動の充実につながる大きな成果となった。また、今回のような教職員や子供たちとの交流は、委員として重要な活動であると改めて感じた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・授業ボランティアなどの活動については、少しずつメンバーも増え、充実してきた。情報発信については、まだ十分とは言えないと思うが、今までの話し合いの中でもなかなかいい案がないので、今後も引き続き考えていきたい。
- ・昨年の評価と同様、地域に対する情報発信は十分にできていないと感じた。他地域の協議会はどのような発信をしているか等、情報収集が必要であると感じた。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・学校支援ボランティアの充実、ボランティア募集方法
- ・地域への周知、連絡体制の確立、ボランティアとの連絡ツールの確立
- ・今年度と同等の子供たちとの意見交換及び交流